

●2018 年第 2 回理事会決定に基づくマラソン大会実行委員会との意見調整の結論について「NP0 やましろ里山の会」の見解を公表 10 月 15 日付のマラソン実行委員会からの回答文書「36 回京都木津川マラソン大会に向けた支援について」が届きました。

10 月 5 日付「第 36 回京都木津川マラソン大会に向けた協力依頼について」文書には、契約方式についての返答又は回答でなければ受け取れないと返送いたしました。それに基づいての返答と思われますが、里山の会の要望には答えないで「支援について」という表題でした。

10 月 5 日とは大きく後退したものになっています。

ここ数回のやり取りで「里山の会の主張」(契約方式による協力)と「マラソン実行委員会の受け止め」(一時期一部契約方式採用も見られたが消滅)にかなりの差異が認められました。その上に立って 10 月 18 日の事務局会議で約 3 時間に亘る議論の末に、私達里山の会の主張は聞き入れないものである事も理解しました。

このまま時間を費やしても合意は不可能と判断し、里山の会は、駐車場の取組や選手輸送手段について「選手のために」という一点で、第 36 回大会は違法駐車対策防止と諸事情により自動車利用選手の駐車場確保に努力することを確認の上、

「次回 37 回大会では里山の会として駐車場対策(整備金負担駐車場使用)も選手輸送対策(タクシー借り上げ制)も行わない」ことの説明書を配布して終止符とすることで結論としました。

尚、里山の会として京都木津川マラソン大会を永年支え、現在まで会員の賛同を得て協力をしてきました。年間を通じて暑い日も、寒い日も陰で裏方の仕事を行ってきました。しかし、マラソン実行委員会において評価されていない現状と、私たちの申し出に対しての理解を得られていないことは残念であります。

2018 年 10 月 24 日 特定非営利活動法人 やましろ里山の会

●竹蛇籠製作で緊急事態発生のためお手伝いを求めるチラシ発行

竹蛇籠の製作に緊急事態発生

竹素材の劣化退化が急激に進む 粘り抜け落ち 早期に編み上げないと作り直しに追い込まれる 残り 15 本分 夏が過ぎたら直撃台風。いい季節になれば 割り竹の粘りがどんどん奪われて、蛇籠製作にものすごい影響が出てきています。折れ易くなって、曲げ難くなってきました。

折底辺部分の組み合わせが予定通り完成したのに、今度は乾燥化の進展、粘りの喪失と素材の劣化と退化が激しく進みだしています。折れが発生するのです。折角底辺の組上げが完成したのに新しい材料の準備からとなると、苦労が水の泡になります ここ 1 週間が限度と思われます。ご協力ください。

全てに追加の柱竹も胴巻きの竹も取り付けてありますので、見よう見まねで編み進むだけになっています。緊急事態です。一昨日から全力を挙げて頑張っていますが、手が足りず困っています。

ぜひお越しく下さい。 人手が揃うと一挙に完成出来ることになります。たのみます

里山の会毎日 9 時 30 分から製作に全力

みんな来てください

●竹蛇籠製作についての到達点 中聖牛用の竹蛇籠の製作は 6 基で、モデル部分として展示会などで使用するものを 3 基文製作して準備しておこうと考えております。小さいものでは迫力に欠けるのではないかと思います。実際に使用しているものと同じものを作り上げおきたいものです。これを加えて残りの製作は長さ 4m もの 9 基に制作になります。

●里山農園に念願のトイレが実現 22 日(火) 里山農園の定期作業日にご参集の皆さんが数多くお越しになりましたので、人手が揃ったところで、立て起こそうではないかと声がかかり、葦を再度刈倒し、土囊の土を平に撒いて土台を平地化、堆肥製作に使っていた壁板を敷き詰め基礎土台が出来上がり、仮設トイレを立て込みました。なかなか見事な出来上がりです。入口のカギも正確に作動しますので、管理にも役立ちます。1 号地 2 号地を復旧した時からの里山農園として最も必要としてきた、なくてはならない施設がやっと

実現できました。これまで随分とご婦人の皆さんにはご不便をおかけしてきました。一人でも多くの皆様をお招きできる一人前の施設に一步近づくことが出来ました。雨の中を農園に運んでいただいた皆様のご苦勞が実りました。喜び合いたいと思います

●**森林経営管理法の学習会 24日 15:00～17:00** ここしばらく国会審議で世間をにぎわしてきた森友加計学園問題でしたが、その騒ぎの中で森林経営法が成立(5月)しています。これには見過ごすことのできない問題を数多く含んでいるように見えます。そこで、里山や森林にかかわって生物多様性にも大きな影響が考えられるので、学習会を開催しました。お話を聞くと難しいけれど非常に重要な内容であることがわかりました。

●**会誌45号第1次原稿の編集がで上がりました。**校正修正にご協力をお願いします。現在、竹蛇籠の製作で27本を完成させる取り組みに集中しています。その取組みと併せて会誌45号の原稿集めと編集が重なっています。同時にもう一つ11月17日の「里山農園白土山洞窟コースの整備と竣工」への取組が集中しています。そして、来月11月には木津川の希少種植生調査の除草作業(14000㎡)が待っていますので遅らせるわけにはいきません。やっとのことで会誌編集作業が整いました。最終段階の校正作業に至りました。読み合せのお手伝いにお越しく下さい。まさに猫の手も借りたいということは今の里山の会の活動を言うのではないかと思います。事務所の会議机の上に原稿を置いておきますので、気づかれたところに付箋を貼ってください。お願いいたします。

●**10月24日(水)は、大忙しの日でした。** 午前9時には玉水橋の竹蛇籠づくり場への道具の届けです。そして9時30分からは定例の事務局会議で、会議レジメの最終点検と追加原稿の挿入で、ギリギリ開始時間に間に合いました。11時30分には早めに事務局会議を終了、直ちに昼食を市役所の食堂で食べて、12時30分には玉水橋での蛇籠の製作でした。応援の南勇一さん、チーフの福井さん。播川さんが来ていただきました。大急ぎで蛇籠2m70cm一本を、力を合わせて仕上げ、ドッキングさせて、一基が完成となりました。2基目にも挑戦しましたが、太さが合わず次回に持ち越し。大慌てで、作業場のかたづけ、事務所に戻って、森林経営管理法の学習会資料の印刷、すぐ講師の鈴木さんが来られていました。15時ジャストに学習会を開始、初めて聞く難しい言葉なので、区切り、区切り質問を行って17時までの2時間を熱心に学習しました。そして休憩する時間を惜しんで17時20分から週刊ニュース744号の原稿書きが始まりました。19時になり、おなかが減って持ちませんので、チキンラーメンを買って腹ごしらえ、やる気を起こしました。何とか書き終えたのが20時過ぎ、ここで京の川の恵みの会のフォーラムで発表予定の資料の最終校正を行ってメール送信です。ここで帰宅となりました。

●**里山の風に吹かれよう……**里山の会のリーフの作り直しが始まりました。案内紹介記事を分担して大村さん伊藤さん山田さん金田さんから提出をいただきました。11月28日の城陽市緑化フェスタ(深田さんが実行委員長)に間に合わそうと 追込みでリーフづくりを進めています。まだ準備が出来ていないお方は、ここ2日が期日です。大急ぎで送付ください。

またこの日には竹蛇籠3本の展示を予定しています。もちろん松傘ツリーづくりや自分で作る人気の綿菓子の模擬店、そして展示物のポスターも用意しなければならない追込みの連続になりました。大忙しの集中時期です。お手伝いにお越しく下さい。当日の綿菓子には午前中が2人分足りないので、少し苦戦です。お手伝いにおいでください。お願いします。

●**11月17日(土) 里山農園白土山洞窟コースの完成披露の日です。**里山農園と白土山洞窟へのコース案内と冬野菜の間引き体験、サツマイモ堀体験、など楽しい取り組みを計画しています。できればお茶会も何とか実行したいと思っています。全会員さんがぜひともご参加ください。一度は自然豊かなこの里山農園にお越しいただきたいと思っています。お土産もたくさんご用意しています。

●**11月3・4日は恒例の京田辺市民文化祭に出店展示と模擬店にも参加いたします。ご参加ください。**